

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

京象嵌



古墳時代にわが国に伝わった象嵌は、刀剣、武具類の装飾として発達した。掘込象嵌と布目象嵌があり、京都の象嵌は、布目象嵌が主で、鉄板の表面に布目状の刻みを入れ、金、銀を打ち込んで図案化した装身具などがつくられている。

古墳時代 About 250-600

制作：京都市

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

京象嵌



古墳時代にわが国に伝わった象嵌は、刀剣、武具類の装飾として発達した。掘込象嵌と布目象嵌があり、京都の象嵌は、布目象嵌が主で、鉄板の表面に布目状の刻みを入れ、金、銀を打ち込んで図案化した装身具などがつくられている。

古墳時代 About 250-600

制作：京都市